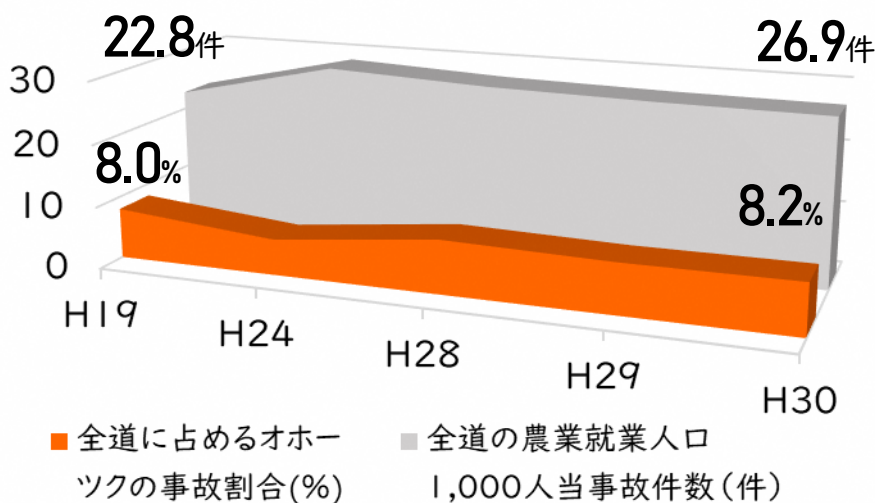


北海道の農作業事故は増加傾向、全道に占めるオホーツクの割合も変わらない

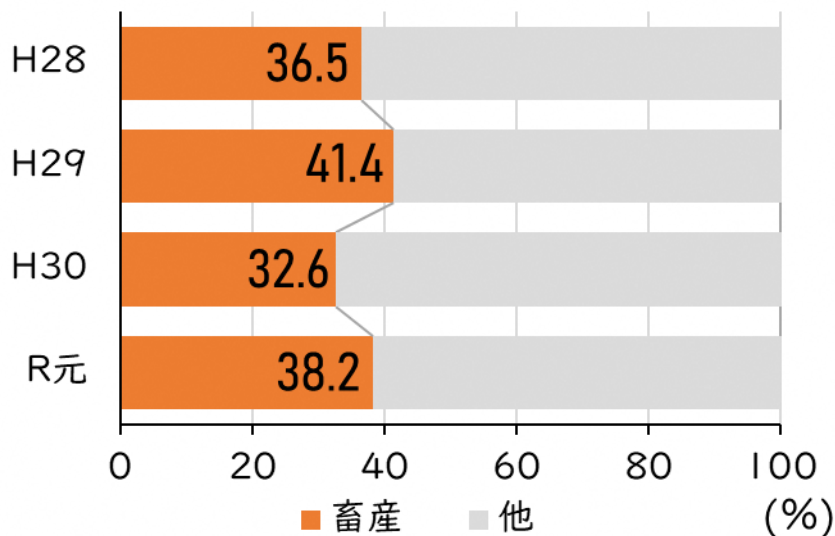


北海道の農作業事故割合は、残念ながら増加傾向です。

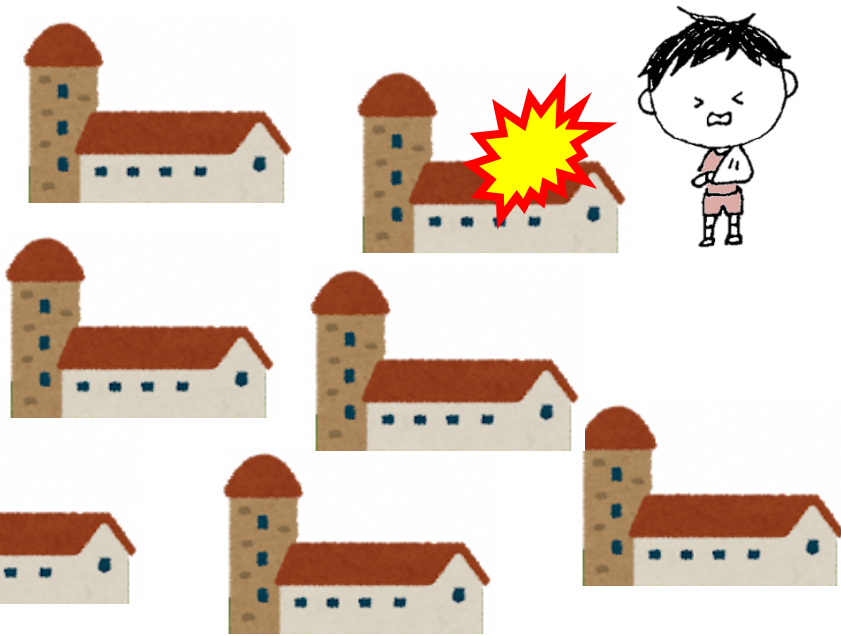
オホーツクの事故割合も北海道と同様の増加を続けており、その事故割合が変わらず推移しています。

オホーツクの農作業事故は約4割が畜産業

畜産業は生き物を生業としている性質上、米や野菜などの他作目と比較すると、突発的な事故は高くなってしまいうのではということが考えられます。



毎年、畜産農家の約7戸に1件でケガ



管内の全畜産農家と、そのうち家畜による農作業事故が発生した割合を分析した結果、平成28~30年の3か年平均12.4%、H30年は13.2%でした。

なお、このデータには草地・畑作業中の事故や除雪作業などの、『家畜管理時以外の作業』は省きました。家畜管理以外も含めると、畜産農業者の事故割合はもう少し高くなります。

データから見る、農作業事故の実態

家畜農作業事故割合は「搾乳中」と「牛の移動中」が全体の6割以上

「搾乳中」と「牛の移動中」が事故の半数以上を占めるのは男女関係ありません。

しかし、男性は「牛の移動中」が34.2%で最も高くなるのになるのに対して、女性は「搾乳」が最も高く、38.6%になります。

オホーツク管内
家畜農作業事故

▼
直近3年間で

434件
(H28-30合計)

うち
搾乳中



31.1%

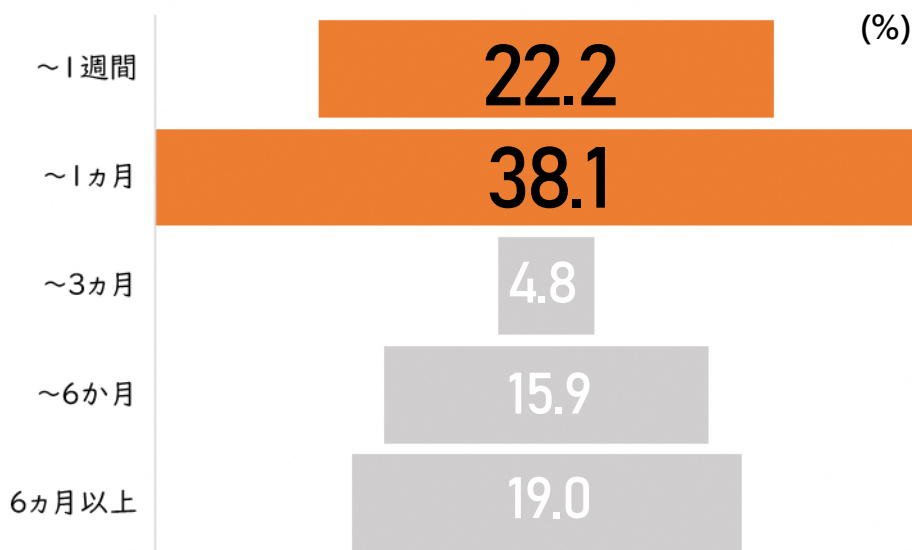
うち
牛の移動中



30.4%

作業中にヒヤリ・ハットする頻度は、2割以上が1週間に1回起こり、4割弱が1カ月に1回起こる

家畜の管理作業中にヒヤリ・ハットする頻度は？(H30,回答数92)



1週間以内と1カ月以内を合わせると、全体の6割が1カ月に1回ヒヤリ・ハットすることが分かりました。

1つずつ着実に、ヒヤリ・ハット頻度を減らす意識が大切となります。

管内の家畜農作業事故データをより詳しく知りたい方は、「網走農業改良普及センター」で検索するか、右のQRコードで入手できます。

※資料URL:<http://www.okhotsk.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/index.htm>

